

赤土流出防止 久米島で協定

町と環境保全団体

【久米島】赤土流出防止活動を久米島で取り組む環境保全団体の久米島の海を守る会と町が2日、「赤土流出防止対策推進の連携協力協定書」の協定を締結した。協定書では儀間川流域の儀間地区、嘉



手刈地区を赤土流出防止対策モデル地域とし、緑肥種子の支援など5項目を確認した。仲里庁舎で行われた締結式で平良朝幸町長は「赤土流出防止対策の効果は出てきてい

「赤土流出防止対策推進の連携協力協定書」を交わした平良朝幸町長（前列左から3人目）と田場俊之理事長（同4人目） 〓久米島町仲里庁舎

る。さらに農家の協力を得ながら進めていく必要がある」とあいさつした。同会の田場俊之理事長は「これから、よりよい久米島、共に発展する久米島を築いていきたい」と抱負を語った。

同会は、久米島のサンゴ保全活動や海中清掃、赤土流出防止活動などを目的に、島内外12社と久米島ダイビング安全対策協会で構成している。

（比嘉正明通信員）